

「(株)長野エネルギー開発」とは

地球環境を考える上で、再生可能エネルギーの利用が必要な今日。
長野市内に本社を置く3つの企業がコンソーシアムを組む事により、
それぞれの企業の技術を活かし小水力発電所の建設を通して
持続可能な社会に貢献することを目的として「平成29年6月1日」に設立をしました。

小水力発電事業開発を目的とした地元企業コンソーシアム

協栄電気興業(株)

- 電気設備設計
- 発電機制御設計
- 電気工事
- 電気設備保守

(株)北條組

- 土木調査設計
- 土木工事
- 土木施設保守

ミツワヤンマー(株)

- 発電機設計
- 発電機保守

株式会社 長野エネルギー開発

長野県下は水力発電のポテンシャルが非常に高く、非常に有望であることから、事業の実証施設として「米子川第一発電所」を自社で設計施工・水車電気制御盤製造を行い平成30年8月運転開始し、開発の経験や運用の経験をフィードバックすることで、今日県下の小水力発電普及に邁進し令和版「ハイドロバレー計画」の実現を目指します。

米子川第一発電所の紹介 **1**

米子川第一発電所の3つの特徴

①取組体制

日本では、このような発電所は、大企業が取り組むのがほとんどです。我々のような地元に根付いた小企業での、民間事業者同士の連携取り組みは日本では、あまり例がありません。また、水車の製造をはじめとして、設計・企画・施工を地元企業の技術力を活かしております。

②利用している水

上流にかつて硫黄鉱山が、あったためPH3.23の強酸性で、農業利用や魚類の生育環境として不適で、利用価値があまりなかった水を今回の水力発電所の設置により価値を生み出しております。

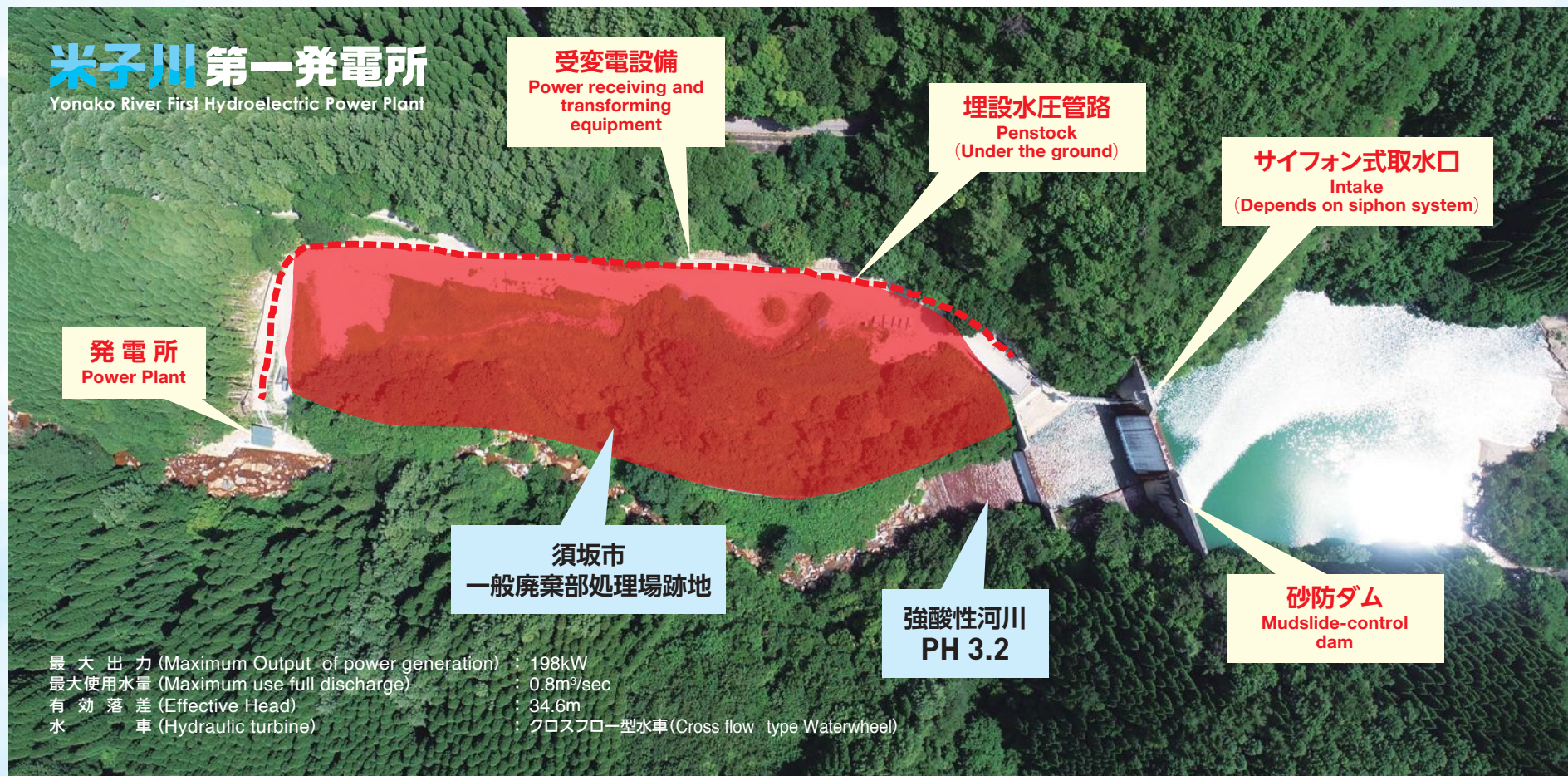
③土地利用

現在は、使用されておきませんが、ここ須坂市の一般廃棄物処理場の跡地の為、土地の利用価値があまりありませんので、小水力発電所の設置により、土地利用価値を生み出しております。



米子川第一発電所の紹介 2

米子川第一発電所の全体図



G20 関係閣僚会合における現場視察

発電所の現場視察状況(2019年4月)



株式会社長野エネルギー開発の業務

開発理念

地域に裨益する事業

地域と共存できる事業

事業者は50年将来を見据える

発電事業事業化サポート

- ・ポテンシャル調査
- ・地域住民の意見抽出
- ・行政等可能性確認
- ・調査・設計
- ・各種許認可取得



発電事業運営サポート

- ・保全管理
- ・中長期保守計画の立案実施
- ・ダム水路主任技術者の派遣

フィードバック

米子川第一発電所運営